

気候情報

2011年4月の日本の天候

- 西日本と沖縄・奄美で顕著な低温
- 東日本太平洋側から沖縄・奄美にかけて少雨
- 東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で顕著な多照

4月の天気概況

月前半は、日本付近は冷涼な高気圧に覆われて晴れの日が多かった。月後半は、高気圧と低気圧が交互に通過し天気は数日の周期で変わったが、上空の強い寒気が日本付近へ南下し大気の状態が不安定となったため、局地的に激しい雨や雷雨となり竜巻などの突風も発生した。沖縄・奄美には月初めから下旬前半まで南からの暖かく湿った空気が流れ込みにくかった。これらのため、気温は西日本と沖縄・奄美でかなり低く、降水量は、東日本太平洋側から沖縄・奄美にかけて少なく、西日本太平洋側ではかなり少なかった。日照時間は、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり多かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、北日本では旬初めに前線が通過したため曇りや雨の所があった。また、旬末には低気圧や前線の影響で北日本から西日本にかけての広い範囲で雨となった。

中旬：旬前半までは高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、旬後半は低気圧と高気圧が交互に通過し、気圧の谷の通過時には上空の強い寒気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、所々で雷が発生し、突風が発生した所もあった。また、北日本から東・西日本日本海側の山沿いでは雪の所もあった。東日本太平洋側では晴れの日が多く4月中旬としては、1961以降で最も多照となった。

下旬：低気圧と高気圧が交互に通る天気は数日の周期で変わったが、気圧の谷の通過時には上空の強い寒気が流れ込んだ。このため、大気の状態が不安定となり所々で雷を伴った激しい雨が降り、竜巻などの突風が発生した。沖縄・奄美では26日から27日にかけて南からの暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大雨となった所があった。

4月の気候統計

月平均気温：西日本と沖縄・奄美ではかなり低く、東日本、東北地方で低かった。これらの地域では平年を1℃以上下回ったところがあった。一方、北海道地方では高かった。

月降水量：西日本太平洋側ではかなり少なく、東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。

た。これらの地域では平年の40%を下回ったところがあり、室戸岬（高知県）、大分、都城（宮崎県）、鹿児島など全国9地点で4月の月降水量の最小値を更新した。一方、北日本と東日本日本海側では多かった。羽幌（北海道）では、4月の月降水量の最大値を更新した。

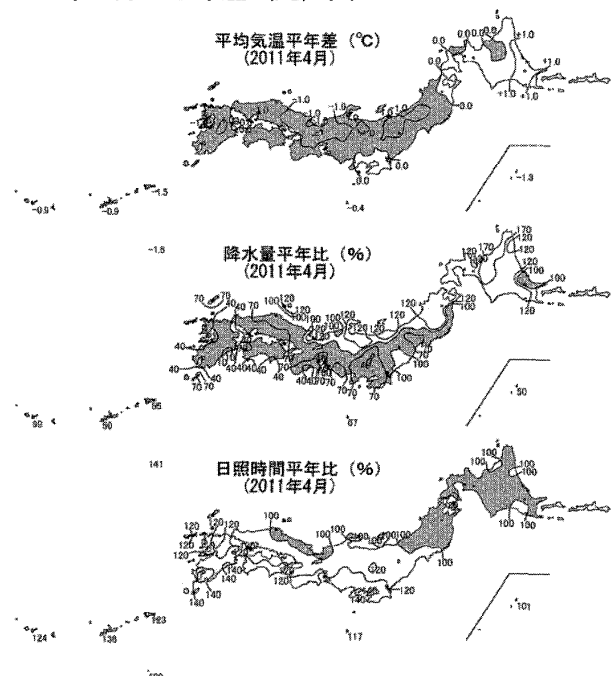
月間日照時間：東日本から西日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美ではかなり多く、西日本日本海側で多かった。銚子（千葉県）、都城（宮崎県）、鹿児島など全国9地点で4月の月間日照時間の最大値を更新した。一方、北日本では少なく、東日本日本海側は平年並だった。

（気象庁観測部統計室）

4月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）
羽幌 142.5
- ・月降水量少ない方から（mm）
室戸岬 69.0 大分 16.5 都城 41.5
鹿児島 41.0 など9地点
- ・月間日照時間多い方から（時間）
銚子 229.8 都城 232.0 鹿児島 231.9
など9地点

2011年4月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。

本稿は1971～2000年の統計により平年値にもとづいています。2011年5月の日本の天候から、1981～2010年の統計による平年値を使用します。